

令和2年第1回議会定例会における行政概要報告書

(令和元年11月26日から令和2年2月29日まで)

1 那珂ふるさと大使について

2月8日、東京で那珂ふるさと大使情報交換会を開催しました。出席された13名の大使から活動報告をいただき、さらには市への要望など貴重なご意見をいただきました。また、同日茨城のアンテナショップである「イバラキセンス」において行われた「那珂市長トップセールス」にもご参加いただき、市長とともに市のPRのお手伝いをしていただきました。

2 かまくら×東京タワー出店について

12月28日及び29日、東京都港区にある東京タワーの正面玄関前において、那珂市の友好都市である、秋田県横手市が主催したイベント「かまくら×東京タワー」に共催出店し、那珂市の冬の味覚である「ほしいも」を販売したほか、市の魅力発信と観光PRを行い、地元のかたや国内外の観光客から、たいへん好評を得ることができました。

3 いい那珂マルシェ in イバラキセンス開催について

2月8日に東京都中央区銀座にある「イバラキセンス」で「いい那珂マルシェ in イバラキセンス」を開催しました。雛人形とつるし雛を展示した店内では、那珂市産の「ほしいも」や「いちご」、市特産品ブランド認証品である「シフォンケーキ」を販売し、市長が物産と観光をトップセールスでPRしました。また、同日開催された那珂ふるさと大使情報交換会に参加された大使もいい那珂マルシェを見学しました。レストランでは、那珂市産の野菜を使ったサラダや鍋などのメニューを提供しました。

4 市長と話そう 輪い・和い座談会について

「市長と話そう 輪い・和い座談会」を3回開催し、11月26日に芳野地区まちづくり委員会45名、11月30日に中谷原自治会7名、1月16日に市PTA連絡協議会女性ネットワーク委員会18名のかたのご出席をいただきました。

市政の方針等について市長が説明するとともに、「協働のまちづくり」や「スポーツの振興」、「通学路の安全や教育環境」などのテーマに沿った意見交換を行いました。

5 人権週間記念フェスタについて

12月7日、総合センターらぼーるにおいて、県、県教育委員会、市、市教育委員会、水戸地方法務局、県人権擁護委員連合会、県人権啓発活動ネットワーク協議会の主催による「人権週間記念フェスタ」が開催され、県内各地より230名のかたが参加されました。

県及び法務省が募集した「人権啓発ポスター」、「人権メッセージ」及び「人権作文」の優秀作品の表彰式と、石川千明氏いしかわちあきによる講演「スマホ時代のこどもたちに大人ができること」が行われました。

6 那珂市人権啓発講演会について

2月1日、総合センターらぼーるにおいて、市、市教育委員会及び水戸・鹿嶋地域人権啓発活動ネットワーク協議会の共催による「人権啓発講演会」を開催し、95名のかたが参加されました。有賀^{ありがえり}絵理氏による講演「障がい者人権とこころのバリアフリー」を通じ、障がい者の人権に対する啓発を図りました。

7 「那珂市と茨城キリスト教大学との相互連携・協力に関する包括協定」の締結について

茨城キリスト教大学とは、これまでも市内に居住する高校生の地域特定推薦や、看護学部実習生インターンシップの受け入れ、計画策定委員への参画などの連携を行ってまいりましたが、この度、「小中学校国際理解支援事業」に、茨城キリスト教大学の留学生にご協力をいただくことや、近隣大学との連携をより強固にするという趣旨の元、12月18日、那珂市と茨城キリスト教大学との包括連携協定の調印式を執り行いました。協定締結に当たり、12月11日の「小中学校国際理解支援事業」では、五台小学校においてベトナムとインドネシア出身の茨城キリスト教大学の留学生を招いて外国の言葉や文化に触れるとともに、国際的理解や関心を深めることができ、楽しく学ぶことができました。今後、国際交流や地域福祉、人材育成、まちづくりなど様々な分野において連携を深め、市の施策に活かしてまいります。

8 地域おこし協力隊について

4月からスタートする「地域おこし協力隊」は、「アグリビジネス活性化プロジェクト」として地元農産物の需要拡大や食と農の連携による地域の活性化を目指す隊員と、「パークビジネス活性化プロジェクト」として静峰ふるさと公園にて四季を通じて賑わいあふれる公園を目指す隊員の募集をしているところですが、移住専門誌への掲載や求人サイトでの案内、1月には東京で開催された2回の移住セミナーに参加して案内を行い、総数9人の応募のなかから人選を進めています。応募されたかたは、それぞれがこれまでの経験やスキルを活かして市の活性化につながる抜群のアイデアや目標を持っており、4月からの活躍に大きな期待をしているところです。また、東京での移住セミナーでは、地域おこし協力隊に応募されたかたを含め、首都圏在住の約40名の移住希望者への情報提供や交流を図り、移住希望者との会話は大いに盛り上がり、市への高い関心と興味を持っていただくことができました。

9 ワークショップ2030SDGsの開催について

現在、第2期那珂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定を進めていますが、その取組の一環として、1月22日、若手職員を中心に構成する創生本部部会員25名により、ワークショップ2030SDGsを開催しました。これはシミュレーション型カードゲームによりシンプルにSDGs（持続可能な開発目標）を理解するワークショップです。SDGsは自治体の計画や戦略、方針の策定などに当たり、SDGsの要素を最大限反映することを奨励するという国の実施指針に沿うものであり、次代を担う若手職員の人材育成にも寄与できるワークショップにより、SDGsの考え方

についてゲーム感覚で学ぶことができました。

10 文化デザイナー学院生によるひまわりタクシーの利用促進デザインの作成について

昨年4月に連携協定を締結した水戸京成百貨店は、かねてから学校法人専門学校文化デザイナー学院と業務連携をされており、ひまわりタクシーの乗降場所に水戸京成百貨店を選定したことを機に、文化デザイナー学院の生徒によるひまわりタクシーの利用促進につながるデザインを作成していただきました。文化デザイナー学院では、このデザイン作成を1、2年生60人の課題として授業に取り入れ、生徒一人ひとりが作成したデザインを数回の学院内での審査を経て、2月20日には市長出席の下、最終プレゼンテーションが実施されました。生徒が作成した作品はどれも秀逸で完成度が高く、最優秀デザインについては、ひまわりタクシーをPRしていく際のデザインとして採用していきます。

11 市議会議員一般選挙について

市議会議員一般選挙を次のとおり執行しました。なお、定数18人に対し、公職選挙法に基づく法定得票数に達した当選者は17人でした。

選挙期日	令和2年2月16日（日）
当日有権者数	46,103人
投票人員	21,885人
投票率	47.47%（市の選挙として過去最低投票率）

12 多文化共生セミナーについて

12月14日、市立図書館において、多文化共生セミナー「ハイチ編」を開催しました。

ハイチ出身のセドリック・チャールズさんを講師に招き、生活習慣や食文化の日本との違いなどをテーマにお話をいただきました。写真を交えたハイチの紹介などもあり、参加者からは「旅行した気分になれた」、「カリブ海について理解が深まった」などのご意見をいただき、とても好評でした。参加者は、28人でした。

2月8日、市立図書館において、多文化共生セミナー「ペルー編」を開催しました。

ペルー出身の^{あらがき}新垣マリアさんを講師に招き、食文化などについてお話をいただきました。また、独特のカラフルな衣装の紹介の他、楽器やダンスも交えて、とても和やかな講演会となりました。参加者は、50人でした。

13 まちづくりリーダー養成講座について

1月26日、中央公民館において、まちづくり委員会や自治会、市民活動団体の関係者など、67人の参加のもと、まちづくりリーダー養成講座を開催しました。自治会、ボランティア団体の活動事例の発表を行い、基調講演では、ソーシャル・ナビゲーター・ネットワーク代表の^{いけだゆきなり}池田幸也先生を講師に迎え、グループワーク形式により、それぞれの地域課題などについて話し合う機会を取り入れたことにより、参加者から

「他地域の現状が聞けて非常に参考になった」などのご意見をいただきました。

14 いいなかパーティーの開催について

2月22日、ひたちなか市内で「球婚^{きゅうこん}」と題し、「いいなかパーティー」を開催しました。男女23人の参加者が、ボーリングを楽しみながら、お互いに声を掛け合い、和やかな雰囲気の中で会話も盛り上がりました。カップルの成立は4組でした。

15 環境シンポジウムの開催について

2月23日、総合センターらぼーるにおいて、2部構成による「環境シンポジウム」を開催し、市民など128名の参加がありました。

第1部は「ごみ問題と3Rの推進」をテーマに大人とこどもに分け、基調講演を行い、第2部は環境をテーマに実施した、小学生ポスターコンクールの表彰式のあとに、市内3事業者による、環境面に配慮した取組事例の講演をいただきました。

16 「いいなかふれあいフェスティバル2019」について

12月4日、総合センターらぼーるにおいて、障害者週間の行事として「いいなかふれあいフェスティバル2019」を開催し、障がいに関する周知・啓発を行い市民の関心と理解を深めるとともに、障がいのあるかたの社会参加の促進を図りました。

フェスティバルのうち「成年後見制度市民学習会」では、判断能力が低下し意思決定が困難なかたやその家族等を対象に制度活用のための講義を行い、37名の参加がありました。

また、「障がい理解促進のための映画会」では、知的障がいのある青年の社会的自立を描いた作品を上映し、79名の観覧がありました。さらに、障害者就労支援事業所による「物品販売会・展示会」では、12事業所が参加し、就労機会の創出や工賃向上による障がい者の経済的自立を促進するため、障がいのあるかたが作った商品の販売や普段行っている作業訓練の様子を公開し、多くの来場者で賑わいました。

17 生活クラブ生活協同組合との見守り協定締結について

11月29日、生活クラブ生活協同組合との間で「要援護者等の見守り活動協力に関する協定」を締結しました。

これにより、同組合が業務中、不審なことや公道の陥没などに気付いたとき市に通報する体制が構築されました。

18 在宅医療と在宅介護に関する講演会について

12月8日、総合センターらぼーるにおいて、「在宅医療と在宅介護に関する講演会」を開催し、市民など158名の参加がありました。

講師である茨城県立中央病院角田看護局長から、「人生会議～人生の最終段階における選択について」をテーマに、人生の最後をどのように過ごすか、ご家族など身近なかたと話し合うことの大切さについて、ご講演いただきました。

19 市食生活改善推進員養成講習会の実施について

今年度新たな市食生活改善推進員の募集を行い、1月16日から2月27日の期間で全6回の養成講習会を実施し、8名のかたが修了することができました。今後は、現会員と共に「子ども食部会」「成人食部会」「高齢食部会」のいずれかに加入し、市民への普及活動にお力添えいただく予定です。

20 こころの健康づくり講演会の実施について

1月27日、総合保健福祉センターひだまりにおいて「心地よい睡眠は人生を変える」と題し、こころの健康づくり講演会を開催し、市民など109名の参加がありました。講師である県立睡眠医療センター土井センター長から「睡眠」をテーマに睡眠時無呼吸症候群の症状やメカニズムを中心にご講演いただき、集まった参加者は興味深く聴講されました。

21 東京都台東区ふるさと交流ショップの出店について

1月30日から2月4日まで、浅草千束通商店街「ふるさと交流ショップ台東」において、市の特産品ブランド認証品をはじめ、新鮮野菜や干しいもなどの農産物を販売し、市の魅力発信と観光PRを行うなど、台東区民との交流を深めてきました。

22 市教育振興大会について

1月26日、総合センターらぼーるにおいて、「第16回市教育振興大会」を開催し、教育の分野で功績のあったかたがたを表彰するとともに、教職員による研究成果の発表を行いました。

また、日本女子大学坂田仰教授^{さかたたくし}を講師に招き、教育現場で実際に発生した教育紛争の事例などを通じて、教職員に求められる法的な知識・意識などについて「事例で考える学校教育紛争－2019」と題し、記念講演を行いました。

23 市教育表彰及び小中一貫教育発表会について

2月15日、総合センターらぼーるにおいて、「令和元年度市教育表彰及び小中一貫教育発表会」を開催しました。

教育表彰及び善行表彰では、スポーツや文化活動等で優秀な成績を収めた児童生徒や善行活動の功績に対して表彰を行いました。

また、発表会では、保護者や地域の皆様が見守る中、5つの学園ごとに代表の児童生徒による、1年間の小中一貫教育の活動状況などについての発表や、「未来の那珂市を考える」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

24 「家庭の日」図画・作文発表会並びに表彰式典について

1月14日、総合センターらぼーるにおいて、「家庭の日」図画・作文発表並びに表彰式典を開催しました。本年度、市内各小・中学校から図画123点、作文69点の応募があり、金賞受賞者7人による作文発表会並びに図画・作文入賞者63人の

表彰式を行いました。

また、青遙学園市立第二中学校9年生の作品が、公益社団法人茨城県青少年育成協会主催の「家庭の日」に関する絵画・ポスター展において最優秀賞を受賞しました。

25 成人式について

1月11日、那珂総合公園アリーナにおいて、新成人448人の出席のもと成人式を挙りました。多くのご来賓のご臨席を賜り、厳粛な中で式典が執り行われ、新成人としての門出を祝福いたしました。

新成人対象者は565人、出席率は79.3%でした。

26 第7回いばらきっ子郷土検定県大会について

2月1日、ザ・ヒロサワ・シティ会館において、第7回いばらきっ子郷土検定県大会が開催され、那珂市からは、5年連続で市大会を勝ち抜いた白鳥学園市立瓜連中学校8年生代表5人が出場しました。ナカマロちゃんや地域のかたなどが大きな声援を送る中、健闘しましたが強豪校に阻まれ惜しくも予選敗退となりました。

27 いきいき茨城ゆめ国体那珂市実行委員会の解散について

2月26日、総合センターらぼーるにおいて、第5回いきいき茨城ゆめ国体那珂市実行委員会総会を開催しました。平成28年10月の実行委員会設立から昨年開催した第74回国民体育大会までの様々な取り組みや運営状況等について報告し、国民体育大会の全業務が完了したことから、実行委員会は3月31日をもって解散することが承認されました。

28 雛人形展及び展示解説会について

2月1日から3月8日まで開催された「第12回那珂のひなまつり」に併せ、歴史民俗資料館において、「雛人形展」を開催しました。

資料館所蔵及び市民から募った明治、大正、昭和、平成の雛人形を展示し、毎日多くの来館者で賑わっています。また、2月9日の展示解説会には、市内外から多くのかたが参加され大変好評でした。

29 市立図書館入館者400万人達成セレモニーについて

市立図書館が平成18年10月に開館して以来、13年2か月目となる12月21日、入館者400万人を達成し、記念セレモニーを行いました。

入館者400万人目となるひたちなか市在住の後藤美優ごとうみゆさんに記念品を贈呈しました。

30 第57回那珂市冬季駅伝競走大会について

12月1日、那珂総合公園及び周辺道路において、市体育協会主催による第57回那珂市駅伝競走大会が開催され、7部門129チームが参加しました。当日は素晴らしい青空、最高のコンディションのもと、選手たちは1本のタスキをつなげるため、

白熱した争いが繰り広げられ、全チームが無事タスキをつなぎ完走しました。

31 茨城ロボッツホームゲーム「那珂市の日」について

マザータウン協定を結ぶ茨城ロボッツと福島ファイヤーボンズの試合が、2月1日、アダストリアみとアリーナにおいて「那珂市の日」として開催され、市内に在住・在学する295人が無料、98人が優待で招待されました。

特別企画として、試合に先立ち、市内ミニバスケットボールスポーツ少年団が前座試合を行い会場を大いに盛り上げたほか、市特産品が当たる抽選会、いい那珂暮らしPRブースの開設、那珂よさこい連によるよさこいソーランの演舞などにより市の魅力を伝えることができました。

32 総合型地域スポーツクラブ「ひまわりスポーツクラブ」設立10周年記念大会について

2月2日、那珂総合公園アリーナにおいて、総合型地域スポーツクラブ「ひまわりスポーツクラブ」の設立10周年記念大会が開催され、10年継続会員並びに功労者等に感謝状を贈呈しました。また記念大会の中で、ニュースポーツや軽スポーツの体験を行いました。

33 消防業務について

消防訓練指導については、事業所や学校等を対象として21回行い、1,329人が参加して、防火防災知識の習得と防火意識の向上を図りました。また、応急手当の普及のため、普通救命講習会を9回行い、285人が受講しました。

火災出場件数については、4件、救急出場件数については、593件となっています。

東消防署に最新型水槽付消防ポンプ自動車を更新配備、12月13日より運用を開始しました。消防活動を迅速かつ適切に行うため、資機材の充実を図り市民の「安全・安心」を担って参ります。

1月12日には、那珂総合公園において消防関係者500人が参加し、地域防災への決意を新たに安全・安心をめざし消防出初式を開催いたしました。

34 東日本大震災について

市民の放射線に対する不安を解消するため、空間放射線量及び水道水の放射性物質濃度の測定を引き続き実施いたします。また、保育所や学校の給食食材及び市内で生産された農畜産物を検査し食における安全の確保に努めています。

被災されたかたを支援するため、引き続き被災者生活再建支援制度による国の支援金及び県・市の災害見舞金を支給しており、1月末現在の支給状況は、次のとおりです。

国の支援金は、平成31年4月10日で受付を終了し、全壊が210件、大規模半壊が9件、合計219件に対して総額2億7,912万5千円を支給しました。

県の災害見舞金は、平成23年度で受付を終了し、半壊179件に対して537万円を支給しました。市の災害見舞金は、住家の全壊が46件、半壊が242件、非住家の半壊以上が278件、合計566件に対して総額1,948万円を支給しました。

また、災害援護資金の貸付は、10件で総額1,930万円です。

35 令和元年東日本台風（台風19号）について

台風での大雨により河川が増水し水害被害が発生いたしました。今後は、国・県と連携を図り減災対策に努めてまいります。

被災されたかたを支援するため、被災者生活再建支援制度による国・市の支援金及び市の災害見舞金を支給しており、1月末現在の支給状況は次のとおりです。

国の支援金は、解体世帯が1件、大規模半壊が3件、合計4件を受付し、うち大規模半壊1件について150万円が支給決定されています。市の支援金は、10件に対して総額218万7千500円を支給しました。

また、市の災害見舞金は、住家の半壊が14件、非住家の半壊が6件、合計20件に対して総額38万円を支給しました。

なお、被災された市民のかたを支援することを目的にした「那珂市令和元年台風19号災害義援金」については、2月29日現在で7,325,900円の寄付がありました。また、市の災害復旧対策や復興事業の費用に充当することを目的とした、ふるさと納税は、2月29日現在で2,104,555円の寄付がありました。

併せて、県で受け入れをした義援金について、県義援金配分委員会より2月28日「茨城県台風第19号災害義援金第1次配分」として市に6,400,000円の送金がありました。こちらについては、手続き終了後すみやかに被災者に配分する予定です。

令和2年3月10日

那珂市長 **先崎 光**